

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【公開番号】特開2005-225779(P2005-225779A)

【公開日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2005-033

【出願番号】特願2004-33983(P2004-33983)

【国際特許分類】

C 07 C	27/00	(2006.01)
B 01 J	38/04	(2006.01)
C 07 C	29/04	(2006.01)
C 07 C	31/12	(2006.01)
C 07 C	45/27	(2006.01)
C 07 C	49/10	(2006.01)
C 07 B	61/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C	27/00	
B 01 J	38/04	Z
C 07 C	29/04	
C 07 C	31/12	
C 07 C	45/27	
C 07 C	49/10	
C 07 B	61/00	3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月12日(2006.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

[参考例6](触媒Fの調製)

塩化第二スズ5水塩の代わりに四塩化チタンを用いた以外は参考例1とほぼ同様の方法でTi及びMoの酸化物からなる触媒Fを調製した。この触媒Fの組成は、 TiO_2 44質量%、 MoO_3 17%質量%、 SiO_2 39質量%であった。この触媒FのMo/(Ti+Mo)原子比は0.18であり、流動床触媒に好適な滑らかな球形をし、十分な機械的強度を有していた。